

付属資料・目次

改修特記仕様書（抜粋）

現場説明付記事項・配置図

仕上表（改修前・改修後）・建具表

平面図（改修前・改修後）

特 1

1

2

3

京都大学（南部）稲盛財団記念館 1 階多目的室改修工事

I 工 事 概 要

1. 工事場所

京都市左京区吉田下阿連町 4 6（旧京都織物紡績内）

2. 完成期限

令和 6 年 8 月 3 0 日（金曜日）

3. 建物概要

建 物 名 称	稲盛財団記念館		
工 種	模様替		
構 造	R C		
階 数	3 F		
建築基準法による	建築面積 (㎡)	2,425㎡	
	延べ面積 (㎡)	6,148㎡	
消防法施行令別表第一の区分	(7) 項		
改 修 面 積（㎡）	172㎡		
備 考	改修範囲は1階の1室のみ		

4. 工事種目

○ 印の付いたものが対象工事種目

建 物 別 及 び 屋 外	工 事 種 別			
工 事 種 目				
○ 2 仮設工事	一式			
・ 3 防水改修工事				
・ 4 外壁改修工事				
○ 5 建具改修工事	一式			
○ 6 内装改修工事	一式			
○ 7 塗装改修工事	一式			
・ 8 耐震改修工事				
・ 9 環境配慮改修工事				
・ プール改修工事				
○ 電気設備工事	別途発注			
○ 機械設備工事	別途発注			
・				

5. 指定部分

・ 無 ・ 有 対象部分（
指定部分工期 令和 年 月 日（ 曜日）

6. 概成工期

・ 無 ・ 有 令和 年 月 日（ 曜日） (1.2.1) [1.2.1]

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

(1) 文部科学省発注工事請負等契約規則（文部科学省訓令第二十二号）別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、図面__3__枚及び本特記仕様書__1__枚によるほか、下記仕様書等のうち、○印の付いたものを適用する。

○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)（以下「標準仕様書」という。）

○ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)（以下「改修標準仕様書」という。）

○ 文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)（以下「文科仕様書」という。）

○ 文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)（以下「文科改修仕様書」という。）

○ 工事写真撮影要領(令和5年9月)

建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)

○ 建築工事標準詳細図(令和4年版)

== (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。 ==

なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）。

機械設備工事の特記仕様書は（ ）による。

2. 特記仕様

(1) 本特記仕様書の表記

1) 項目は、○ 印の付いたものを適用する。

2) 特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。

○ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。

○ 印と ○ 印の付いた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の（ ） 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

特記事項に記載の [] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

特記事項に記載の (()) 内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

特記事項に記載の [[]] 内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4) 図 印は、「図等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章 項 目

1

○ 適用区分

○ 電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者

○ 施工条件

特 記 事 項

・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

・ 風圧力

風速 (V₅₀ = 32 m/s)

地表粗糙度区分 (・ I ・ II ・ III ・ IV)

・ 積雪荷重

平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 (32)

(1.3.3~4) [1.3.3~4]

この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

項 目 名	電気保安技術者
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○
2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	・
4 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	・
5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	・
6 第1種電気工事士の資格を有する者	・
7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	・
8 第2種電気工事士以上の資格を有する者	・
9 短絡大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	・

工事用電力を機外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

この工事現場では、次の施工条件による。(1.3.5) [1.3.5]

●本建物は使用しながらの工事となるため、漏水対策ならびに、出入口等の使用に考慮した安全対策を講ずること。

●本工事建物周囲には、研究棟や住宅等が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮すると共に、安全にも十分配慮すること。

●工事用地および工事用地周辺において適切な養生・清掃を行うこと。また、工事車両の搬出入時などに周辺道路等を汚損、破損等した場合は速やかに対応すること。

●騒音・振動・粉塵の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。

●臭気が発生する作業は、周囲に対して影響が少ない方法を講ずること。

●学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。

その他、学内行事等による作業の中止については、監督職員と協議すること。

●工事車両の通行は交通整理員を配置する等、安全対策を講ずること。

●その他建物内や敷地周囲に影響があると思われる作業については、監督職員と協議を行い進めること。

●工事用地は、工事完成時には原状に復旧して返還すること。

●工事用地内の緑地保全（植木等）に努めること。

●構内実施中、又は実施が決定した地工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。

工事名称

京都大学（南部）稲盛財団記念館 1 階多目的室改修工事

縮尺

A 1 : -
A 3 : -

図面番号

特 1

図面名称

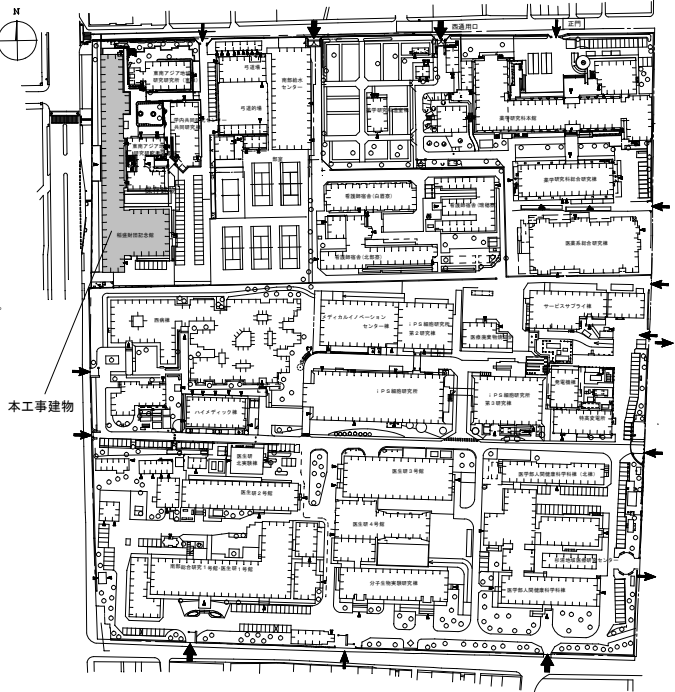
改修特記仕様書（抜粋）

令和 6 年 3 月

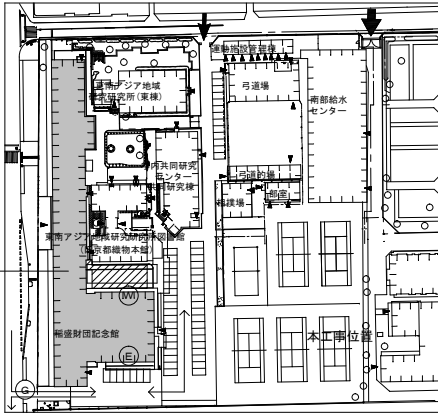
現場説明付記事項

- 1 工事施工上の注意事項
- 1) 車両通行経路は、指示の通りとし監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。
工事車両は周辺道路上での違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。
- 2) 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入がでないようにすること。また、工事関係車両（通勤車両を含む）は工事用地内に駐車することを原則とし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。
- 3) 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
- 4) 撤去工事その他で大きな音、振動等が生じる場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。
- 5) 教職員、学生等の通行が滞り兼ねため、構内車両通行には徐行の徹底等、十分注意するよう指導を行うこと。
- 6) 埋蔵文化財を発見した時は、ただちに工事を中止し、監督職員の指示を受けること。
- 7) 工事場所内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火気等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。
- 8) 支障となる地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。
- 9) 工事用地は、撤去等に良好な環境を保持すると共に工事完成時には現状に復帰して返還すること。
- 10) 同一構内の他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
- 11) 作業時間は、午前8時から午後6時を原則とすること。
- 12) 構内における環境については、監督職員と協議のうえ、健康増進法（平成十四年法律第百三号）に基づく労働環境対策を講ずること。

- 2 工事中の構内安全対策について
- 工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。
- 1) 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
- 2) 撤去時等で危険な状態となる箇所には、安全柵、工事中表示板（点滅灯付）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。
- 3) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用地内は徐行すること。
- 4) 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。
- 5) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
- 6) 仮囲いの設置に伴い、構内通路の視認性が確保できない場合は、常夜灯及びコーナ一部に透明パネルを設置するなど安全確保に努めること。
- 7) パネルゲートには電子音響式回転灯を設置するなど事故防止に努めること。
- 8) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。

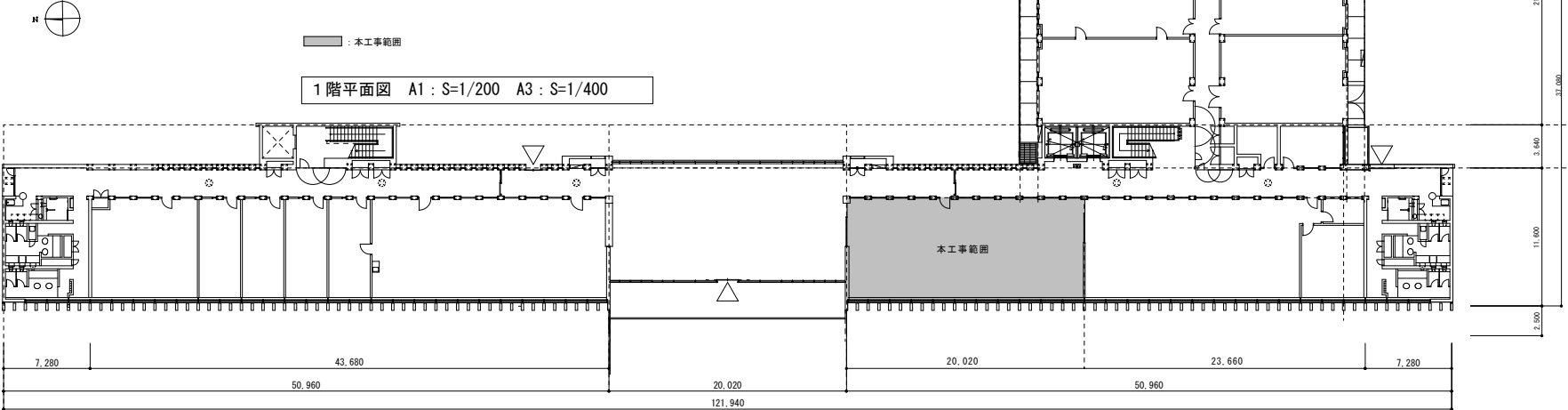
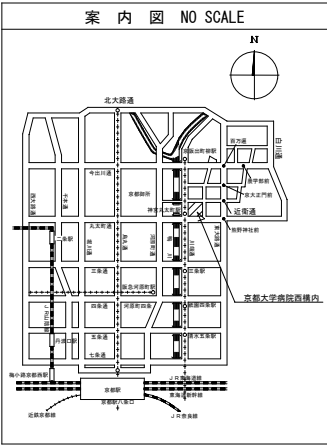


構内配置図 A1 : S=1/1500 A3 : S=1/3000



拡大配置図 A1 : S=1/1000 A3 : S=1/2000







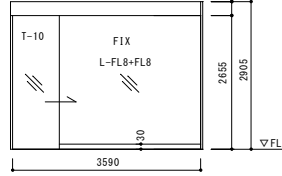
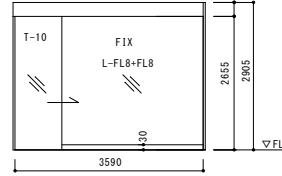
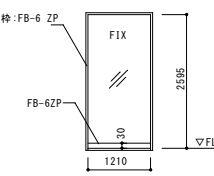
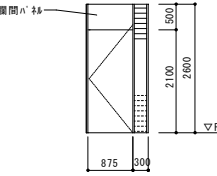
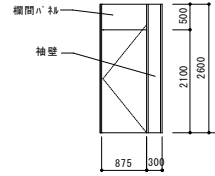
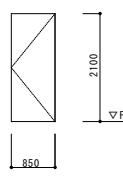
凡例			
	本工事位置		仮囲い(フェンス) 高さ H=1.8m L=63m
	工事用地 (190 m ²)		交通整理員 (大型車両通行時)
	既存建物		工事用電力分岐位置
	工事車両搬入経路		工事用水道分岐位置



1階平面図 A1 : S=1/200 A3 : S=1/400

内装仕上表（改修前）										
室 名	床	幅 木	(Hmm)	壁	(塗装)	廻り縁	天 井	(塗装)	天井高 (mm)	備 考
多目的室	9468-ベニツト【撤去】 0A707H100 壁新設部及び指定箇所【撤去】	木製幅木 壁新設部のみ【撤去】 ビニル幅木 壁設置部のみ【撤去】	60 60	コンクリート打放しA種【残置】 木製ルーバー【残置】 天然木縁付【残置】	2-ASC OSUC	木製廻り縁 壁新設部のみ【撤去】	天然木縁付 仕上げ材【撤去】 PCあらわし【残置】	OSUC P吹付	2600 直天	2-ASC : 77918シリコン樹脂7791付塗り OSUC : 9468ステイン塗り+ナレタシ樹脂7723塗り P吹付 : A1-94付吹付
廊下 1	花崗岩(黒・白・グレー)【残置】	コンクリート【残置】	30	コンクリート打放しA種【残置】 木製ルーバー【残置】 天然木縁付【残置】	2-ASC OSUC		7421n18 杉(切板t=3.0) 仕上げ材のみ【撤去・復旧】	A-BE	2600	A-BE : 77918樹脂焼付塗り
廊下 2	9468-ベニツト【残置】 0A707 H250【残置】	コンクリート【残置】 木製幅木【残置】	30	コンクリート打放しA種【残置】 せっこうボード【残置】 シタ合板【残置】	2-ASC EP OSUC	ビニル製廻り縁【撤去】	せっこうボード【残置】	EP	2600	8418n18 鋼板点検口 A-BE : 合成樹脂エポキシエポキシ塗り
内装仕上表（改修後）										
室 名	床	幅 木	(Hmm)	壁	(塗装)	廻り縁	天 井	(塗装)	天井高 (mm)	備 考
防音室	9468-ベニツト【新設】 0A707H100 壁新設部のみ【新設】	ビニル幅木【新設】	100	壁紙貼り【新設】 ※垂れ壁共 ※壁柱面仕上は残置		塩ビ製廻り縁 壁新設部のみ【新設】	化粧せっこうボード【新設】 天然木縁付【新設】	OSUC	3,360 2,600	防音室設置(別途工事) OSUC : 9468ステイン塗り+ナレタシ樹脂7723塗り
研究室 1	9468-ベニツト【新設】 0A707H100 壁新設部のみ【新設】	ビニル幅木【新設】	100	壁紙貼り【新設】 ※垂れ壁共 ※壁柱面仕上は残置		塩ビ製廻り縁 壁新設部のみ【新設】	化粧せっこうボード【新設】 天然木縁付【新設】	OSUC	3,360 2,600	OSUC : 9468ステイン塗り+ナレタシ樹脂7723塗り
研究室 2	9468-ベニツト【新設】 0A707H100 壁新設部のみ【新設】	ビニル幅木【新設】	100	壁紙貼り【新設】 ※垂れ壁共 ※壁柱面仕上は残置		塩ビ製廻り縁 壁新設部のみ【新設】	化粧せっこうボード【新設】 天然木縁付【新設】	OSUC	3,360 2,600	OSUC : 9468ステイン塗り+ナレタシ樹脂7723塗り
研究室 3	9468-ベニツト【新設】 0A707H100 壁新設部のみ【新設】	ビニル幅木【新設】	100	壁紙貼り【新設】 ※垂れ壁共 ※壁柱面仕上は残置		塩ビ製廻り縁 壁新設部のみ【新設】	化粧せっこうボード【新設】 天然木縁付【新設】	OSUC	3,360 2,600	OSUC : 9468ステイン塗り+ナレタシ樹脂7723塗り
研究室 4	9468-ベニツト【新設】 0A707H100 壁新設部のみ【新設】	ビニル幅木【新設】	100	壁紙貼り【新設】 ※垂れ壁共 ※壁柱面仕上は残置		塩ビ製廻り縁 壁新設部のみ【新設】	化粧せっこうボード【新設】 天然木縁付【新設】	OSUC	3,360 2,600	OSUC : 9468ステイン塗り+ナレタシ樹脂7723塗り
廊下 1	既存のまま	既存のまま		既存のまま		既存のまま	7421n18 杉(切板t=3.0) 仕上げ材のみ【撤去・復旧】		2,600	
廊下 2	既存のまま	既存のまま		既存のまま		既存のまま	既存のまま		2,600	

建具表 A3-1/100

記号・数量	<div> 残置</div>	1	<div> 残置</div>	1	<div> 撤去</div>	3	<div> 残置</div>	1	<div> 新設</div>	3	<div> 新設</div>	1	
形状 寸法													
形式	片引自動扉(ツインード7)		同左		FIXタイプ型鋼サッシ		片開きフラッシュ7付きツインード7		片開きフラッシュ7付きツインード7、小窓付(40x1700)		片開きフラッシュ7		
枠：材質(仕上)・見込	FB-6 溶融亜鉛メッキ仕上げ(幅木共)		同左		FB-6 溶融亜鉛メッキ仕上げ(幅木共)		ウレシ 框目縁付 OSUC		140	天然木縁付 OSUC	140	亜鉛めっき鋼板 焼付塗装	140
建具：材質(仕上)・見込			同左				ウレシ 框目縁付 OSUC(欄間ナ18共)		40	天然木縁付 OSUC(欄間ナ18共)	40	亜鉛めっき鋼板 焼付塗装	40
ガラス	扉：強化ガラス(t=10)、袖：合わせガラス(FL-8+FL-8)		同左		700板ガラス(t=8)								
金物	一式		同左		一式		一式		付属金物一式、レバーハンドル8錠、9468-7、DC、戸当り		付属金物一式、レバーハンドル8錠、9468-7、DC、戸当り		
ガラリ							ガラス(300×700)						
法令関係													
備考					飛散防止フィルム		音響：SUS目地枠		袖壁見込み：120 音響：SUS目地枠				

OSUC : 9468ステイン塗り+ナレタシ樹脂7723塗り

建具 共通事項・その他

- ・建具寸法は枠内寸法とする。製作にあたっては現地調査を実施すること。
- ・鍵は現状のマスターキー合わせとする。
- ・丁番は原則ステンレス製3枚用とする。
- ・レバーハンドル等の取付位置はFL+1000を基準とする。
- ・DCの取付面は室内側とし、90度ストッパー付きとする。
- ・組立補助部品(ビス等)はステンレス製とし、見掛部は建具と同色とする。
- ・壁当たりとなる扉にはDCの有無に関わらず戸当りを取り付ける。
- ・鋼製軽量建具は原則、小口包みはステンレス鋼板を曲げこむこと。

工事名	京都大学（南部）稲盛財団記念館1階多目的室改修工事		図面番号
図面名称	仕上表（改修前・改修後）・建具表	縮尺	原示
		設計日	令和6年3月
2			

